



2015年 県産品奨励月間標語
第39回 沖縄の産業まつりテーマ

「あ、いいね! 使って納得 県産品」

あ、いいね!
使って納得

第39回
沖縄の産業まつり

2015.10/23(金)24(土)25(日)
[屋内展] AM10:00>PM7:00 [屋外展] AM10:00>PM8:00

会場: 奥武山公園・沖縄県立武道館
※会場へは、ゆいレール(奥武山駅・奥武山公園駅)など公共交通をご利用ください。

県産品

主催 沖縄の産業まつり実行委員会
協賛 沖縄タイムス社・琉球新報社・琉球朝日放送局・琉球放送・琉球朝日放送 沖縄テレビ放送
ラジオ沖縄 エフエム沖縄 琉球朝日放送局 琉球朝日放送局 琉球朝日放送局 琉球朝日放送局
琉球朝日放送局 琉球朝日放送局 琉球朝日放送局 琉球朝日放送局 琉球朝日放送局
(1/2社/欄外)

- 第39回沖縄の産業まつり
- 「新うちな〜むん紹介」(株)黒糖本舗垣乃花
- 「元気カンパニー」(有)八幡瓦工場
- 第22回沖縄県高等学校ロボット競技大会

2015
10月号

Vol.611

平成27年10月23日(金)〜25日(日)の日程で開催が予定されている第39回沖縄の産業まつりの実施に向け、第1回実行委員会が那覇市のホテルロイヤルオリオンで開かれました。

生産者の生産意欲の高揚と県産品への消費者意識の啓発、時代のニーズに対応した新製品の開発・品質向上の促進、さらには県内外市場の拡大を図り、特色ある本県産業の振興に資することを目的に開催される沖縄の産業まつりも39回目となり、今年も数多くの後援に支えられ実施に向け準備が進められています。

実行委員会には呉屋守章実行委員会会長(工連会長)を中心に、副会長を務める下地明和沖縄県商工労働部部長、平良憲一農

第39回沖縄の産業まつり

第1回実行委員会

平成27年9月24日(木)
ホテルロイヤルオリオン

協中央会会長代理、その他、産業振興公社や沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄県商工会連合会といった様々な団体から構成される実行委員が集まり、産業まつり開催にあたっての審議が進められ、沖縄の産業まつり実施要領(案)、収支予算書について、審議、承認されています。

奥武山公園、県立武道館を中心とした会場には様々な展示ブース、販売ブース等が設置されることとなっており、毎年恒例となった沖縄県推奨優良県産品展、沖縄県発明くふう展、中城湾新港地区モノづくり展といった展示をはじめ、新規展示として、沖縄県内企業の扱う健康食品の魅力を紹介する沖縄機能性食品推進

モデル事業展が初お目見えすることになっております。さらに、県内のものづくり系企業による海外展開の活動状況を紹介する沖縄ものづくり海外展開活動展も新規展示されることとなり、期待感が高まっています。

第39回のテーマは「あ、いいね! 使って納得 県産品」となっており、幅広い世代に県産品の魅力をアピールするための公式ポスターも完成しています。

ポスターデザインは公募によって選ばれ、参加企業15社15点の作品の中から第一印刷株式会社制作のポスターが、「標語が明確に見る人に伝わり、ポスター全体の表現に品格がある」などの評価により、最優秀賞を受賞しました。

同日開催された授賞式では、最優秀賞をはじめ、優秀賞、奨励賞受賞企業担当者に呉屋会長より表彰状と副賞が贈られました。

昨年開催の第38回は来場者244,400人を数え、沖縄県内最大の総合産業展としてふさわしい賑わいを見せました。今年は各市町村のプレミアム商品券の利用も促進しながら、動員、売上高ともにさらなる上昇が期待されています。

実行委員会ではこれらの取り組みを円滑に遂行するための注意喚起やピーアールについても呉屋会長を中心に綿密な会議が行われ、委員同士で認識を共有することができました。



実行委員会では、委員による質疑応答・意見交換会も行われました。



挨拶を述べる呉屋実行委員会会長(工連会長)



第39回沖縄の産業まつり公式ポスターの授賞式では、入賞された各社への表彰が行われました。



第39回 沖縄の 産業まつり

会場ガイド

[写真は昨年の様子]

■第1会場：沖縄県立武道館(アリーナ棟)
沖縄県推奨優良県産品展

わいわい

県産品の品質の向上や需要拡大等の販路開拓を目的に設立された「沖縄県優良県産品推奨制度」で推奨されている商品を紹介し、広く県民に同制度の周知を図る。

企画内容

- 1 平成27年度推奨商品の紹介及び平成25年度から平成26年度推奨製品の紹介
- 2 優良県産品のガイドの配布、制度紹介パネルの展示
- 3 推奨製品の試食・試飲

実施

沖縄県商工労働部ものづくり振興課
 (株)沖縄県物産公社

かりゆしウェア展示商談会

わいわい

1年を通じて県産衣料で過ごせるように、半袖・長袖や結婚披露宴に出席するときに着用したい「かりゆしウェア」の紹介。

企画内容

- 1 秋冬物として長袖のかりゆしウェアや新作の半袖、結婚披露宴にかりゆしウェアで出席するときの「ハレ」の日用の展示紹介。
- 2 テキスタイルデザイン公募展と審査会を行う。
- 3 カタログの配布

実施
 沖縄県衣類縫製品工業組合

工芸感性価値事業展

わいわい

平成27年度より実施している「工芸感性価値創造人材育成事業」の内容等について県民に周知を図る。

企画内容

工芸感性価値創造人材育成事業の内容を紹介するとともに、「感性塾」の受講4グループ(金細工、工芸縫製、木工芸、首里織)の製品を展示紹介する。

実施

特定非営利活動法人
 沖縄県工芸産業協働センター
 (沖縄県工芸振興センター)

平成27年度 泡盛鑑評会出品酒一般公開

わいわい

泡盛鑑評会に出品した古酒、一般酒を一堂に展示し、広く消費者にPRを行う。

企画内容

- 1 泡盛鑑評会に出品した各酒造所の古酒、一般酒、特殊製品を一堂に展示
- 2 泡盛のできるまでのパネル展示等
- 3 泡盛ビデオの放映

実施

沖縄県酒造組合

必要な時に、必要な商品を適正な価格でご提供いたします。



人の手のぬくもりが
 原点です。

県産品を心で包むお手伝い。

株式会社 **ごまみごボール**

工場 TEL.098-992-1616

糸満市西崎町4丁目7番
 FAX.098-992-1155

ピープルズバンク

沖縄銀行

頭取 玉城 義昭



Little Twin Stars ©1976, 2015 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No.GS62051

沖縄県中小企業 経営革新展

ねらい

経営革新計画の承認を受けた中小企業者が、自社開発の商品、技術、サービス等を広く県民にアピールすることにより、販路開拓や事業連携等のビジネスマッチングを実現させ、同時に経営革新支援制度の周知を図る。

企画内容

対象企業へ出展を募集し、応募の中から8社ほど選定して開発商品等の展示を行う。当日は各企業からの説明員が常駐し、展示内容の紹介や来場者の質問等に対応する。

実施

沖縄県商工労働部中小企業支援課

第44回 沖縄県発明くふう展

ねらい

日常生活から産業技術にわたる分野において、獨創性に富む発明・考案を広く県民に紹介し、その実施化を促進すると同時に相互利用を図ることにより、県民生活の向上及び県内産業の発展に寄与することを目的とする他、発明の奨励と知的財産の普及啓発活動を行うことにより、県民の知的財産への関心度を高め知的財産力ルチャアの醸成を図る。

企画内容

1 優秀作品の審査会

日時：10月22日(木)10:00～

場所：県立武道館練成道場会議室

賞の種類

特・実 知事賞3作品、会長賞3作品
意匠 知事賞2作品、会長賞1作品

表彰式：10月25日(日)16:00～17:00

2 特許・実用新案・意匠の作品紹介

(現物又は模型 ※大型については屋外展示)

3 特許等取得活用支援事業紹介

(パンフレット配布等)

4 知的財産活用促進支援事業紹介

5 少年少女発明クラブ活動紹介

(作品の展示等)及びものづくり教室

6 (一社)沖縄県発明協会事業紹介

(パンフレット配布等)

実施

(一社)沖縄県発明協会

地域の中小企業魅力再発見展

ねらい

県内の中小企業にて展開している、地域の資源を活かして作り上げた商品や企業独自のサービス等の展示紹介を行うことで、多くの県民や企業へ幅広く知ってもらい、販路拡大やビジネスマッチング等につなげることを目的とする。

企画内容

1 (公財)沖縄県産業振興公社の支援企業の商品展示、紹介など

2 その他、沖縄県の産業振興に資すると思われる展示、紹介など

実施

(公財)沖縄県産業振興公社

産学官技術連携展

ねらい

本県における大学及び教育・研究機関の保有技術や研究成果及び企業との共同開

発による新製品を展示紹介することにより、県民や企業に知ってもらい、共同研究、技術移転、販路拡大等につなげていくものとする。また、多くの県民に科学技術の楽しさ、面白さを伝え、本県の産業発展の原動力であることを伝える。

このため、県内の産学官関係機関が一体となつて「沖縄の未来を創る産学官連携」を基本テーマとして実施する。

企画内容

1 沖縄県工業技術センターの研究成果・技術支援成果の紹介

工業技術センターの保有する技術や研究成果及び技術支援成果を紹介し、広く県民にその役割を理解していただく。また、本県の産業振興のために、共同研究先との連携及び技術の普及の機会を設ける。

●工業技術センターの事業概要

●共同研究成果等の紹介

●研究成果の移転事例、技術支援及び普及事例の紹介

2 琉球大学、沖縄工業高等専門学校、沖縄職業能力開発大学の研究活動・技術成果の紹介

子供から大人(企業まで)を対象とし、大学等の研究成果や企業と大学等との共同研究や技術移転の成果、支援機関との連携事例等を展示することで、本県の各種科学技術や研究成果に関する取組みを紹介する。また、大学等の保有技術や研究成果、企業との共同研究による新商品等を展示紹介することにより、研究活動の面白さを伝え、産学官連携の原動力であることを伝える、進学率向上、共同研究、技術移転等につなげていく。

3 沖縄型植物工場と新エネルギー

当NPOでは、新エネルギー(特にバイオ

県産品を愛用しましょう。

郷土の資源で郷土をつくる

 琉球セメント

代表取締役社長 西村 聡

鉄のリサイクルを通して
社会に貢献する
沖縄唯一の電炉メーカー
(ISO9001 審査登録)

 拓南製鐵株式会社

代表取締役社長 古波津 昇

本社 那覇市壺川3-2-4 ☎ 098-832-0588
新中城工場 沖縄市海邦町3-2-6 ☎ 098-934-6822
石灰工場 名護市字安和 2656-2 ☎ 0980-53-8018

マス)に関する調査をメインに行っており、これまでの本県における実績を紹介し、新エネルギーの普及開発・県民の意識向上を目指す。また、当NPOでは植物工場を運営しているが、また課題が山積している。現在琉球大学や関係機関と連携し、より良い運営を目指しており、それらの事例を紹介する。

●新エネルギー(特にバイオマス)に関する調査実績の紹介

●沖縄資材を利用した植物工場稼働状況の紹介

●上記を含めた事業に関する相談窓口の設置

4 沖縄科学技術大学院大学(OIST)の今とこれから

沖縄科学技術大学院大学について紹介する。また、当大学で行われている研究の紹介や産学連携プロジェクトについて紹介する。

5 株沖繩TLOが実施する企業支援の紹介

(株)沖繩TLOは、「沖繩における大学等の知」を重要な経営資源と位置付け、これらを効果的に活用することによる「地域の産業・企業・事業の知識集約化と商品サービスの高度化・高付加価値化による自立的産業発展」を目指し支援を行っている。本展示では、沖縄県等の事業を活用した産学連携等による新商品・新サービスの実現やものづくり産業の基盤技術の強化、健康食品の市場拡大に向けた新たな取り組み等を中心に、当社が実施する企業支援について具体的な事例も交えつつ紹介する。

6 沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター

沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センターは、健康バイオ関連企業等の研究開発を支援するために設置されたイ

ンキユベート施設である。機能性と使いやすさに留意したレンタルロボの他、クリーンルーム、低温実験室、動物実験室を備えている。また、研究開発に必要な汎用性の高い装置から高度な科学分析機器まで、約40種類の分析装置を備えている。これら分析機器から加工機器を紹介するとともに、具体的な活用事例を交えつつ紹介する。

7 沖縄ライフサイエンス研究センター

沖縄ライフサイエンス研究センターは、沖縄県がライフサイエンス分野の科学技術の振興と産業化を目的に、ベンチャーや研究機関等向けに研究開発、ビジネス化のための中核施設として設置した県内発のP2レベル対応のレンタルラボである。

最新の50種類以上の共用機器を同居させていない企業や研究機関の研究者にも開放している。これら施設と入居企業の紹介を行う。

8 沖縄科学技術振興センター

沖縄科学技術振興センターは、沖縄県の科学技術振興を担う中核機関として、県が目指す知的産業クラスターの形成に向け、産学官共同研究の実施など様々な取り組みを行っている。当センターが現在行っている主な事業の紹介を行う。

9 沖縄総合事務局経済産業部

産学官連携に関する事例紹介、当局の研究開発支援制度等の周知や他地域との連携強化を図る取り組みについて紹介する。

実施

沖縄産学官連携推進協議会(内閣府沖縄総合事務局、沖縄県、琉球大学、沖縄工業高等专科学校、沖縄職業能力開発大学校、沖縄県工業技術センター、沖繩TLO、沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター、沖縄

科学技術大学院大学、沖縄ライフサイエンス研究センター、沖縄科学技術振興センター)、NPO垂熱帯バイオマス利用研究センター。

中城湾港新港地区モノづくり展

概要

同地区立地企業の様々な製品を県内外へ広くPRすることにより、立地企業の更なる発展と本県の製造業等の拠点となっている中城湾港新港地区の振興を図ることを目的とする。

企画内容

- 1 中城湾港新港地区に立地する企業の様々な製品等を広く紹介する
- 2 PC、モニター等を活用した映像による紹介や会場外においてもチラシを配布する
- 3 電気自動車(EV)を屋外展示し紹介する

実施

中城湾港開発推進協議会(うるま市・沖縄市)



第3回 輝くうちなあ〜企業見本市

ねらい

県内の中小企業経営者の方へ同友会の活動内容を伝え、同友会の3つの目的、よい会社をつくるうえで、よい経営者になろう、よい経営環境をつくるうえで、を改めていく。

企画内容

業種4部会の観光関連部会「守礼ネット会」、建設関連部会「みらい21」、情報関連部会「eおきなわ」、環境関連部会「エコまる」を中心に同友会や他の活動を紹介する。

実施

沖縄県中小企業家同友会

Jクレジット制度の紹介及び省エネ体験教室

ねらい

Jクレジット制度を活用した中小企業等による温室効果ガスの排出削減事業の推進及び地球温暖化対策に資するカーボン・オフセットの取組について普及啓発を行い、併せて子供たちにエネルギーについて理解してもらい、省エネを実践したくなるような体験教室を実施する。

企画内容

- 1 Jクレジット制度の紹介、県内外の制度活用事例の紹介
- 2 カーボン・オフセットの紹介、県内外の先進事例の紹介(パンフレット・パネル展示)
- 3 沖縄の産業まつりの期間内に排出されるCO2(使用電力・来場者の移動)によるものを中小企業等がCO2の排

出削減に取り組んだことで創出されたJクレジット(排出権)を用いてカーボン・オフセット(相殺)する

- 4 省エネ体験教室では、発電体験や資料配付により省エネ実績教室を開催

実施

内閣府沖縄総合事務局経済産業部(沖縄の産業まつりのカーボン・オフセットは同まつり実行委員会事務局である沖縄県工業連合会が行う)

ものづくり・商業・サービス革新事業展

ねらい

ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援事業により新商品・新サービスの開発や設備投資の支援を受けた県内のもので、ものづくり企業の成果事例を広く県民にアピールすることで、販路開拓・ビジネスマッチングを図るとともに、本県製造業の技術力の高さをPRすることで将来を担う若い世代の人材育成につなげる。

企画内容

同補助金により助成を受けた県内企業(H24年度補正採択企業46社、H25年度補正採択企業119社)の中から、特にめざましい成果を上げた企業を10社程度選定し、パネルや開発商品の展示を行う。また、ものづくり補助金の制度内容について紹介する。

実施

沖縄県中小企業団体中央会
沖縄県中小企業地域事務局(ものづくり補助金沖縄県地域事務局)

沖縄機能性食品推進モデル事業展(新)

ねらい

沖縄県内企業の扱う健康食品の魅力を展示紹介することで、多くの県民や企業へ幅広く知ってもらい、販路拡大やビジネスマッチング等につなげることを目的とする。

企画内容

- 1 沖縄県健康産業協議会会員の健康食品商品展示、紹介など。
- 2 「沖縄機能性食品推進モデル事業」に関する資料の展示、紹介など。

実施

沖縄機能性食品推進モデル事業共同会(代表者：公財)沖縄県産業振興公社

障害者雇用促進展

ねらい

障害者の雇用状況、雇用支援制度等を広く県民にPRすることにより、障害者雇用の推進を図ることを目的とする。

企画内容

- 1 障害者雇用に関するパネルの展示
- 2 障害者関係各種パンフレットの配布
- 3 その他、労働局広報パンフレットの配布

実施

沖縄労働局、沖縄県(独)沖縄障害者職業センター

「決めては醗酵」

琉球王朝 秘伝。



RBR 琉球バイオリソース販売株式会社

代表取締役 照屋 講裕

■本社 沖縄県うるま市州崎5-1 沖縄バイオ産業振興センター1階
TEL:098-989-7064 FAX:098-982-1193

■サービスセンター 沖縄県国頭郡本部町字豊原606-2



Orion

爽快という、うまさ。

ORION'S ORIGINAL BREW

Orion DRAFT BEER

オリオンダフトビール

DRAFT BEER

飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。のんだあとはリサイクル

■奥武山公園プール 水中可視光通信による 水中ス・パ・プログラム展

わいっ

中小企業庁の中小企業小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業(事務局:沖縄地域事務局)で取り組んでいる「海中環境を健康癒しの場として活用した新たな機器とサービスの開発」の成果を県民に広くPRする。

企画内容

- 1 高飛び込みプールを活用した運動プログラムデモンストレーション
- 2 開発機材を使った水中癒しプログラムのデモンストレーション
- 3 50mプールを活用した水中体験会
※予約制(1日10名限定)

●水中癒しプログラムは、音声通信技術による水中呼吸法の指導により、被験者の精神的な落ち着きを促すものである。この技術を活用し、県民から被験者を募集して体験会を実施する。

【実施日時】

10月23日(金)・24日(土)・25日(日)
10:00～12:00・13:00～15:00

【被験者】

一般申込者(13才以上かつ身長140cm以上)で健康チェックで問題の無い方

3 救助救難訓練デモンストレーション

●消防学校、NAU等で指導を行っている国際潜水教育科学研究所が水中可視光通信機器を用いた救難訓練のデモンストレーションを行うほか、水面救助など救助訓練の内容を紹介する。

【実施日時】

10月24日(土)・25日(日)のいずれか午後で調整中

実施

琉球大学
国際潜水教育科学研究所
(株)マリコム・ス琉球

■アーリーナ棟ステージ

【10月23日】

●沖縄県中小企業家同友会(14:00～16:00)

【10月24日】

●スケルトニクス・ロボット「試乗体験」
(12:00～13:00・14:00～15:00・16:00～17:00)

●スケルトニクス・ロボット「デモンストレーション」
(13:20～13:40・15:20～15:40)

【10月25日】

●スケルトニクス・ロボット「試乗体験」
(12:00～13:00・14:00～15:00・16:00～17:00)

●スケルトニクス・ロボット「デモンストレーション」
(13:20～13:40・15:20～15:40)

●発明くふう展表彰式
(16:00～17:00)

■第2会場:沖縄県立武道館(練成道場棟) 沖縄ものづくり海外展開活 動展(新)

わいっ

県内ものづくり系企業による海外展開の活動状況を広く紹介することによって、出展企業の技術力等に関心を持つ企業との新たなビジネス創出、海外展開に関心のある企業へのノウハウ伝授等による新規海外展開案件を発掘する機会として、「一般県民に向けて海外ビジネス交流の進展に伴う生活環境等の変化への対応等について理解促進を図ることを目的とする。」

企画内容

1 環境・エネルギー分野等展示ブース



- 2 海外展開活動事業紹介ブース
- 3 海外展開支援機関紹介ブース
- 4 海外輸出商品(県産品)展示コーナー
- 5 その他

実施

沖縄総合事務局、沖縄産学官連携推進協議会

協力

(独)日本貿易振興機構沖縄貿易情報センター(独)中小企業基盤整備機構沖縄事務所(独)国際協力機構沖縄国際センター、他



信頼と安心のビルメンテナンス

株式会社 沖縄ゼネラルサービス

本社 沖縄県宜野湾市真志喜 1 丁目 7-2
TEL.098-897-2604・FAX.098-897-3855



きもち、つつみ、つながる。

KAKAZ

株式会社 嘉数グラフィヤ

■第3会場：芝生広場横駐車場
市町村コーナー

ねらい

市町村から推薦された特産品を展示即売し、広く県民に認識してもらおうと同時に、消費者ニーズの把握に努める。

企画内容

県産品の展示及び即売

実施

(公社)沖縄県工業連合会

協力

県内市町村

■第18回商工会特産品フェア
「ありんくりん市」

ねらい

商工会のむらおこし事業等により開発された特産品等を中心に、商工会地域逸品を沖縄の産業まつりに集め、流通業者・消費者など多くの県民に、商工会地域産品の良さをアピールし、県内外における販路拡大を図る。

企画内容

1 商工会が実施するむらおこし事業等で開発された特産品を中心とした、商工会地域産品の展示・即売及びPRを行い、広く県民に商工会地域産品を紹介する。
2 新商品紹介や商談など、流通業者との交流を図ることにより、販路拡大を図る。
3 特産品コンテストとして出展商品の中心から募集を行い、「県知事賞」及び「県連会長賞」を授与することで、出展者の製造・販売意欲の高揚を図り、商工会地域

特産品の販売促進活動に寄与することを目的に表彰する。

4 県連ホームページで特産品フェア「ありんくりん市」の案内を行い、県内商工会ホームページを紹介し、商工会地域特産品のPRを行う。

5 商工会コーナーを設置し、パネルによる商工会事業(特にむらおこし関連)の紹介や各種パンフレット等による県連及び市町村商工会の紹介を行い、商工会のイメージアップを図る。

6 各商工会で特産品フェア見学ツアー等の企画により、商工会役員及び会員等の特産品に関する意識を高めるとともに、本フェアの集客にも繋げるものとする。
7 売上げの拡大と購買動向等の調査にデータ活用することを目的に、スマートフォン等の携帯端末を活用した電子決済システムの試験的導入を検討する。

8 購買意欲の促進と各地域の物産を広くPRするため、「おたのしみ抽選会」を実施するとともにアンケート調査を実施して回答者から抽選で出展特産品などを進呈する。
9 出展者に対するヒヤリング調査を実施し、本フェアの事業者評価や商品開発等に関する支援ニーズを把握すること、効果的な事業実施の参考とする。
10 各商工会の指導員は「ありんくりん市」出展事業所の特産品のPR及び販売促進等の現場指導を行うとともに事業者の自立的な出展に向けた支援指導を行うものとする。

実施

【主催】

沖縄県商工会連合会、市町村商工会

【後援】

沖縄県、内閣府沖縄総合事務局

■県産品展示即売会

ねらい

県産品に対する消費者の認識を深め、県産品の優先使用及びその奨励を図ることにより、需要の拡大を促進し、産業の振興を図る。

企画内容

県産品の展示紹介及び即売

● 沖縄県中小企業団体中央会
● 泡盛コーナー他

実施

沖縄県中小企業団体中央会
(公社)沖縄県工業連合会

■第4会場：サブグラウンド
県産建材・石材展

ねらい

県産建設資材等を展示紹介することにより、建材関連産業の振興を図る。

企画内容

鉄筋、セメント、塩化ビニール、アルミサッシ等の県産建設資材及び石材等の展示紹介及び即売

実施

(公社)沖縄県工業連合会

■農林産業展

ねらい

本県の農林産業で生産・製造された製品を展示・即売することにより、農林産物の消費拡大に資する。

「元祖紅いもタルト」30周年

元祖紅いも菓子本舗
御菓子御殿

株式会社 御菓子御殿
☎098-958-7333 / 読谷村宇座657-1

沖縄の屋根を創る

八幡瓦工場 有限会社

代表取締役 八幡 昇

官公需適格組合・地域団体商標「沖縄赤瓦」

〒901-1302 沖縄県島尻郡与那原町上与那原291-1
TEL.(098)945-2301 FAX.(098)946-2331
E-mail:hachi88@sweet.ocn.ne.jp

企画内容

① 農産物(野菜、果物、米等)や農産加工品(缶詰、ジュース等)、畜産加工品、肥料等の即売
② 植木等の即売

実施

沖縄県農業協同組合、県内植木・花卉グループ、(公社)沖縄県工業連合会

おきなわ技能展2015

ねらい

広く県民に対して、ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えることを目的として、ものづくりマイスター等による製作実演やものづくり体験等を実施し、技能・ものづくりへの理解の促進、啓発等を図るとともに、技能士の紹介及びPRを行う。

企画内容

ものづくりマイスター等による製作実演やものづくり体験コーナーを実施し、技能・ものづくりへの理解の促進及び啓発事業を実施する。

〔10月23日〕

沖縄県洋裁技能士会(ベンケース作り)、沖縄県和裁技能士会(お手玉作り)

〔10月24日〕

沖縄県琉球赤瓦漆喰施工協働組合(赤瓦の絵付け)、沖縄県広告美術技能士会(ネームプレート製作)、沖縄県調理師会

〔10月25日〕

沖縄県琉球赤瓦漆喰施工協働組合(赤瓦の絵付け)、沖縄県木工技能士会(貯金箱作り)、沖縄県調理師会

※〔10月24日・25日〕

本部席前広場において「氷彫刻の実演」

実施

沖縄県職業能力開発協会(沖縄県技能振興コーナー)
(一社)沖縄県技能士会連合会

県産品展示即売会

ねらい

県産品に対する消費者の認識を深め、県産品の優先使用及びその奨励を図ることにより、需要の拡大を促進し、産業の振興を図る。

企画内容

県産品の展示紹介及び即売(ダンボール製品、太陽光発電他)

実施

(公社)沖縄県工業連合会

県産品展示即売会

ねらい

県産品に対する消費者の認識を深め、県産品の優先使用及びその奨励を図ることにより、需要の拡大を促進し、産業の振興を図る。

企画内容

一般参観者や商談を目的とするバイヤー等の便宜を図るため左記の種類別に会場レイアウトを設置する。

● 食品・飲料コーナー

● 菓子・パンコーナー

● 健康食品コーナー

● 工芸・その他製品コーナー

実施

(公社)沖縄県工業連合会

市町村コーナー

ねらい

市町村から推薦された特産品を展示即売し、広く県民に認識してもらうと同時に、消費者ニーズの把握に努める。

企画内容

県産品の展示及び即売

実施

(公社)沖縄県工業連合会

協力

県内市町村

**第6会場：陸上競技場外・東側
オリオンビアガーデン**

**第7会場：テニスコート北側
陶器市**

ねらい

県産品に対する消費者の認識を深め、県産品の優先使用及びその奨励を図ることにより、需要の拡大を促進し、産業の振興を図る。

企画内容

陶器の展示即売

実施

(公社)沖縄県工業連合会



天然ガスになった都市ガスも!
プロパンガスも!

沖縄ガス

代表取締役社長 宮城 謙

沖縄ガス ショールーム ゆ〜くる
YOU-KURU

沖縄県那覇市西 3-13-2 ☎(098) 863-7730(代表)
沖縄ガス ☎(098) 863-7750(ショールーム)

第4回沖縄県モデルショップ
空白4日連続開催(10月24日)

雪塩 ちんすこう

伝統の味に新しい味

ミンサー焼

南風堂株式会社 沖縄県糸満市西崎町 4-15-2
☎ 098-995-3111

水は宝・・・一滴を大切に

詳しいお問い合わせはお気軽に

ツカヤマ
有限会社 津嘉山ステンレス工業
TEL. (098) 929-2129

信頼で創るより良い環境

OKIDENSU 電気設備工事・電気通信工事・消防施設工事 施工

沖電水工事株式会社

代表取締役 小波津 聡

本社 〒900-0016 那覇市前島2丁目1番10号 TEL(098)867-6311(代) FAX(098)868-3282
西原営業所 〒903-0117 西原町翁長240-1 TEL(098)945-4742 FAX(098)945-4728

マンホール鉄蓋で郷土の環境作りに奉仕する

沖縄鋳鉄工業株式会社

沖縄県リサイクル資材評価認定
マンホール鉄蓋 第17-1号 再生プラスチック第11-2号

代表取締役
真志喜 実

西原町字小那覇958番地
TEL(098)945-5453 FAX(098)945-5924

(ゆいくる)

大切にします。沖縄の味！

沖縄製粉

代表取締役社長 竹内一郎

大手貯蔵古酒。

後乃邦

数々の国際賞受賞。

沖縄県酒造協同組合 0120-43-94-92 http://www.awamori.or.jp

株式会社 マルキン海産

代表取締役社長 金城 裕治

〒901-2123 浦添市西洲2丁目10番地4
電話(098)ー875ー3310(代)
FAX(098)ー875ー3080
http://www.e-marukin.com/

meiji
明治グループ

県民の健康と生活文化の創造に貢献する

沖縄明治乳業株式会社

〒901-2502 沖縄県浦添市牧港1-65-1 TEL(098)877-5274

内容量900ml アルコール分13度

いいね～、これ!!

久米島の久米仙ハウチタイプ13度

久米島の久米仙 www.k-kumesen.co.jp
お酒は20歳になってから。妊産婦の飲酒はお控えください。お酒は適量に。県産品を愛用しましょう。

Beyond the Bank
あなたの明日へ

海邦銀行

卓越した味わいを皆様の食卓へ。

Hormel

株式会社 **沖縄ホームル**

代表取締役社長 比嘉 昌治

自然との調和を求めて・・・新しい時代の新しい技術



株式会社 技建

代表取締役社長 津波 古 義 秀

日本工業規格表 示認証工場
ISO 9001.140001 認証取得

本 社 〒901-1207 南城市大里字古堅1246番地 電話098-945-2787
ホームページ <http://www.gikenpc.co.jp> FAX098-945-1181



ピニールパイプ
ポリエチレンパイプ 製造販売

県産品を愛用しましょう。

沖水化成株式会社

代表取締役 岸本 力

本社 〒904-2162 沖縄市海邦町3-14
TEL.(098)982-1371 FAX.(098)921-2336



ダンボール・パッケージの
総合紙器

(098) 992-1111



JIS 畳床工場
沖縄県推奨優良県産品

特許 マイナスイオン畳
介護用 洗える畳

- 軽量床衝撃音対策畳
- マイトスタートホウ酸塩畳
- フロアー畳「琉球」Aタイプ
- パームシート畳
- フロアー畳「琉球」Bタイプ

株式会社 沖縄敷物商会 沖縄県那覇市若狭3丁目42番1号
TEL.(098)868-3809・FAX.(098)868-2563 <http://www.oki-shiki.co.jp/>



“県産品”トイレブース【耐水仕様】・アルミパーティションメーカー



沖縄三和シャッター株式会社

代表取締役社長 尾上 裕昭

〒901-0212 豊見城市字平良 84-1

本 社 TEL.(098)840-5538 沖縄北営業所 TEL.(098)965-5538
製造部 TEL.(098)965-5151 石垣営業所 TEL.(0980)83-3838
<http://www.okinawa-sanwa.co.jp/>

- オキボール
- 沖縄ハイボール
- 照明・防球ネット用ボール
- 防災無線・携帯電話アンテナ用ボール
- ポール建柱工事施工一式
- 都市景観美化用コンクリート製品全般
- PHC・CPRCパイル
- 高支持力杭工法及び各種杭打工法の施工
- C.C.BOX(電線共同溝)
- その他地中化製品
- テールアルメ工法(補強土壁工法)
- プレキャスト製品の設計・製造販売・施工

コンクリートテクノロジーの未来をみつめて



沖縄テクノグリーント株式会社

代表取締役社長 仲本 幸文

本 社 / 〒900-0003 沖縄県那覇市字安謝620番地 TEL.(098)868-2522
海邦工場 / 〒904-2162 沖縄県沖縄市海邦町3番地1 TEL.(098)934-5512



沖縄の海水塩 「青い海」

シママース本舗



株式会社 **青い海**

TEL 098-992-1140
FAX 098-994-8464
<http://www.aoiumi.co.jp>

永年の施工実績を誇る

安心・安全・信頼の品質「既製コンクリートくい」

MSR
MSA-QS-3987
MS JAB
CM004

リウコンは認定資材 (ゆいぐる)

日本工業規格 認証取得工場 ● 日本下水道協会認定工場
日本建築センター 評価取得工場 ● COPITA 評価取得工場



「リウコン」株式会社

代表取締役社長 大 城 正 治

〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町字小那覇1187番地
TEL: 098-945-3778(代) FAX: 098-945-5065
www.riukon.co.jp リウコン 検索



琉球ガラス村
RYUKYU GLASS CRAFT



タコライスはおキハムじゃなきゃダメダメ!

オキハム

「第39回沖縄の産業まつり」

ポスターが決まる!

「第39回沖縄の産業まつり」が10月23日(金)から25日(日)までの3日間、那覇市の奥武山公園・沖縄県立武道館にて開催されます。

沖縄の産業まつりは、県内の全産業を網羅した総合産業展として位置づけられ、本県を代表する一大イベントです。9月11日(金)、沖縄産業支援センターにおいて、同まつりの広報宣伝に使用するポスターの選定審査会が行われました。

今回の応募総数は15社15点で、6名の選定審査委員で審査を行い、各賞が決定しました。

最優秀賞を受賞した作品が「第39回沖縄の産業まつり」のポスターとして使用されます。

最優秀賞に選ばれた第一印刷(株)の作品については、審査委員から「標語が明確に見る人に伝わり、ポスター全体の表現に品格がある」、「今までにない構成で新鮮味があり、洗練さ

れたポスターである」、「強烈な色使いではないが、構図がすばらしく品良く仕上がっている」などの講評があった。また、同まつりの広報宣伝に関する企画審査会が同日行われ、4社の応募の中から沖縄広告(株)の企画がまつりを盛り上げる内容に相応しいと認められ採用されることになった。

【最優秀賞】第一印刷(株)



【優秀賞】(有)朝日印刷



【優秀賞】(株)宣伝



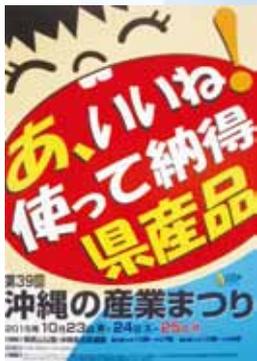
【奨励賞】(有)沖縄マーケットプランニング



【奨励賞】(株)旭堂



【奨励賞】精印堂印刷(資)



審査委員 (順不同)

- 岸本 一夫 [日本グラフィックデザイナー協会] * 審査委員長
- 上地 安信 [イオン琉球 地産地消推進部長]
- 松元 靖 [JAおきなわ農業統括部 参事役]
- 平良 菊 [沖縄県婦人連合会 会長]
- 金村 禎和 [沖縄県商工労働部ものづくり振興課 製造産業班長]
- 桑江 修 [沖縄県工業連合会 専務理事]



新うちな〜むん紹介

株式会社 黒糖本舗垣乃花

●浦添市宮城6-4-15
TEL 098-877-1135(代)・FAX 098-876-4039
http://www.kakinohana.co.jp



安心・安全な原料と製法により、口溶けもまろやかな「エアイン黒糖(仮称)」は贈答品市場の開拓を目指す。

常識にとらわれない栽培法と 新技術で高級黒糖を

昭和49年に垣花商事として創業して以来、黒糖及び関連商品を製造・販売してきた黒糖本舗垣乃花。昨年4月には自然栽培のサトウキビを原料とした新シリーズを発表し、化学肥料、有機肥料、農薬、除草剤を一切使用しない農法で、体にやさしい黒糖作りを実現させたことで話題を集めました。

垣花兼一代表取締役は、「製造・販売のみならず、原料からしっかりとていねいに作りたい」という思いから一念発起し、平成23年うるま市内の耕作放棄地を購入。未経験だった農業に挑戦しています。『奇跡のリン』で知られる木村明則さんとの出会いも大きなきっかけとなったといいます。

無農薬で体にやさしい自然栽培さとうきびは全国から問い合わせが殺到しており、手ごたえを感じた垣花氏は、さらに革新的な商品作りに着手します。沖縄県農業研究センターの前田剛希農学博士とともに、前田氏の持つ技術を取り入れたまったく新しい黒糖「自然栽培さとうきびエアイン黒糖(仮)」を開発。度重なる研究と試作の結果、今年11月に一般発売されます。

前田氏が開発したエアイン黒糖は、黒糖の中に空気を含ませて口当たり

を軽くするという、特許を取得した独自の製法により、従来の黒糖と違ってさつくりと軽く溶けるような食感が特徴です。

自然栽培の原料に農業研究センターの技術を加えて完成した「自然栽培さとうきびエアイン黒糖(仮)」は、「いつもよりすこし贅沢な黒糖」として飛行機内やわしたショップを中心に限定販売されるといいます。「原料と開発技術にコストがかかっている分、一般的な黒糖と比べて価格も高く設定しているが、高価でも安心でおいしいものをという現代のニーズに合致するのでは。気軽に口にするおやつというイメージだけでなく、大切な人への贈り物やお世話になつてくれる人への沖縄土産として新たなムーブメントを作りたい」と、伝統に縛られない新たな販路拡大、ブランドイメージ確立を目指しています。

サトウキビ畑の近隣にできたての黒糖やスイーツを味わえる道の駅「自然栽培サトウキビ村」のオープンも構想のひとつにあり、沖縄県民にとって身近な存在であるサトウキビや黒糖の魅力さをさらに広めるための活動に意欲を燃やしています。



写真(人物右):
(株)黒糖本舗垣乃花
垣花兼一 代表取締役

写真(人物左):
沖縄県農業研究センター
前田剛希 農学博士



キラリ! 元気 カンパニー

沖縄の未来を
照らす企業

沖縄赤瓦の伝統 現代に伝える

有限会社 八幡瓦工場

流行や文化、ニーズに 合わせて改良を重ねる

沖縄赤瓦は主に首里城正殿をはじめとする王府・役所の建物や、神社等で用いられ、現在では一般住宅でも使用されています。2009年には地域の特産品を商標登録する地域団体商標制度により、県内工場4社からなる沖縄県赤瓦事業協同組合が特許出願、認定され、沖縄の建築文化の象徴として広く知られるようになりました。

与那原町の八幡瓦工場では、おもに瓦の製造及び販売を行っており、100%県内産の材料にこだわった、ていねいな製品づくりが特徴です。沖縄に古くから伝わる伝統の赤瓦のイメージを忠実に守りながらも斬新なデザインや現代の建造物に合う新製品開発にも力を入れています。

スラブ屋根専用に研究開発した断熱瓦「ニュー八幡瓦」は、従来の赤瓦同様に断熱効果に優れ、しかもコストが安く施工の早い革新的な赤瓦として高い評価を受け、平成16年文部科学大臣賞を受賞しています。従来の瓦より若干サイズを大きめに仕上げることによって、複合施設や大きな住宅にも対応できるようになっています。

北谷町に2010年オープンした複

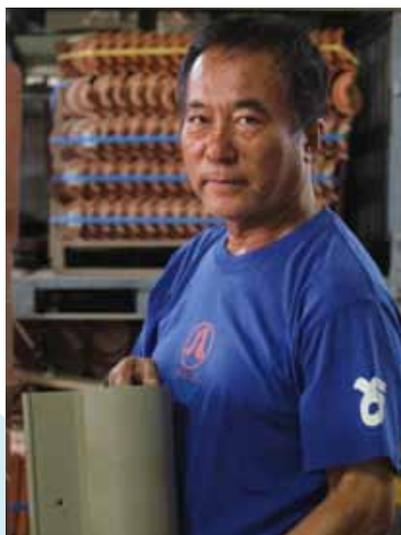
合施設「アカラ」では、芸術家の名嘉睦稔氏のアイデアをもとに、風のようにうねる屋根一面を赤瓦で覆うという、それまでの赤瓦屋根の常識を打ち破る手法で、建築業界のみならず、多くの人々を驚かせました。約28,000枚の赤瓦を垂直勾配に関係なく敷き詰めることにより、沖縄の爽やかな風を表現した「アカラ」の創造性あふれる外観は、現在も街を訪れる人々に大きなインパクトを与えています。

「はじめに注文を聞いたときには難しいと感じたが、若い世代や観光客に赤瓦の魅力を伝えるための挑戦を決めた」と当時を振り返るのは、八幡瓦代表取締役であり、沖縄県赤瓦事業協同組合の理事長も務める八幡昇氏。

二十代で県外へ渡り、製造業等の職に就いて経験を積んだ後、家業である瓦工場を継いだといいます。

100%県産にこだわり 県外、海外との厳しい競争に挑む

風通しがよく、紫外線をカットするため、沖縄の環境に適しているとされる赤瓦にさらに改良を加えて断熱性を高めた「ニュー八幡瓦」は、木造はもちろん、コンクリートの建物にも多く使われています。また、滑らかな曲線の屋根、フ



有限会社八幡瓦工場
代表取締役 八幡 昇氏

写真右：
北谷町の複合施設「アカラ」。
斬新なデザインが県外、海外
からも注目を浴びました。



工場での瓦製造は熟練職人により行われています。

ラットな屋根のいずれにも対応できる赤瓦の誕生により、これまで以上に多くの注文に応えられるようになったといえます。

「開発には時間とコストが必要になりますし、まったく新しいデザイン、金型を取り入れるのには勇気がいります。しかし、多様化する建築デザインにしっかりと追いついていき、依頼主の要望に応えるためには、伝統にすぎるばかりでなく進化することも重要です。他県や海外の品物も多く輸入されている状況下で、県産品として誇れる品質とサービスで対抗しなければなりません」

原料となる土は100%県産クチャにこだわり、沖縄らしい風合いと台風や紫外線に強く長持ちする赤瓦作りを心がけているという八幡氏。

都市化や農地指定により、原料の土が入り手困難になっていることも逆風になっているものの、公共残土を資源として再利用できないか自治体に掛け合うなど、行政とのコミュニケーションも積極的に取っています。沖縄の建築物を象徴する赤瓦の文化を守り続けることを自らの使命とし、日々努力を重ねています。

「工場もそうですが、瓦職人の数が減少傾向にあることも心配の種です。今は昔のように一枚一枚手作業で製造する

のではなく、ほとんどの工程は機械を使用していますが、それでも現場の葺き職人や漆喰職人の技術と経験はどうしても必要になります。沖縄の建造物の文化をしっかりと次代に伝えるためにも、瓦職人という仕事の素晴らしさを若い世代に広めなくてはなりません。

職人のていねいな仕事が必要とされる世の中を作ることも、我々に課せられた重要な役割のひとつと考えています」と、後進の育成にも意欲を見せていました。



有限会社 八幡瓦工場
業 種 瓦の製造及び販売、屋根葺き工事
設 立 昭和57年11月
代 表 者 代表 八幡 昇
住 所・連絡先 与那原町字上与那原291番地1
TEL.098-945-2301・FAX.098-946-2331

平成27年度

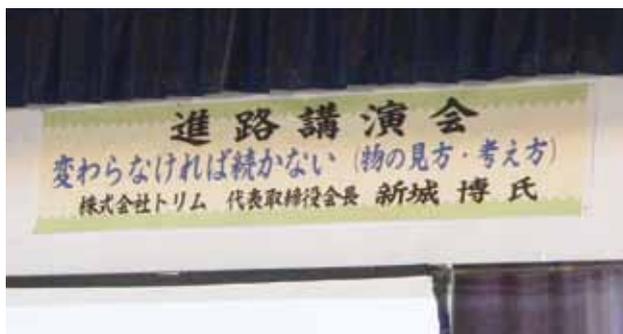
学校と産業界の 交流事業

平成27年9月11日(金)

那覇市立城北中学校

9月11日(金)那覇市立城北中学校において、「学校と産業界の交流事業」の一環による講演会が行われました。夢の実現、進路の目標を達成するために、どのようにすればよいかを考える機会として設けられた講演会では、株式会社トリム新城博代表取締役会長が講師を務め、体育館に集まった1〜3年生約500名の生徒に向け、自身の学生時代の体験談を交えながら、中学生の今だからこぞできることや社会活動を送るうえで必要なマナー、仕事に対する取り組み方について話しました。

新城氏は昭和54年に株式会社トリム



講演会では工連理事である株式会社トリム 新城博会長が登壇。



ムを創立、平成8年より、リサイクル事業部をスタートさせ、平成11年、当時の具志頭村（現八重瀬町）に未利用資源リサイクル工場を開所。ガラスびんのリサイクルによつて資材を製造する技術により開発された軽量資材「スーパーソル」が沖縄県により、リサイクル資材として認定されるなど、最先端技術を駆使したリサイクル事業を追求しています。

環境大臣賞や文部科学大臣賞、当時の通商産業大臣賞など数々の受賞歴を誇り、その技術と環境問題解決に向けた積極的な取り組みが高い評価を受けています。

講演会では「変わらなければ続かない（物の見方・考え方）」をテーマに、柔軟な思考とアイデアを形にする力について将来を担う中学生たちに向けて、ていねいに語りかけました。

受講した生徒のひとりには「庭の掃除でも靴みがきでも、ひとつのことを毎日欠かさずやり続けることが大事という言葉が印象的だった。さっそく明日からなにかできないか考えた」と話しており、生徒たちにとって将来の夢を実現するための地道な努力の大切さに気づくきっかけとなったようでした。

「人材不足分野における雇用管理改善」及び 「非正規雇用労働者の正社員転換等」に係る要請

平成27年9月8日(火) 沖縄産業支援センター



(一社) 沖縄県経営者協会
安里昌利 会長



沖縄県
浦崎唯昭 副知事



沖縄労働局
待鳥浩二 局長

今年6月に発表された沖縄県の完全失業率は5.1%、有効求人倍率は0.85倍となっており、全国と比較して依然厳しい状況が続いているものの、景気回復等の好影響により、県内の雇用情勢は着実に改善が進んでいます。

しかしながら、平成24年就業構造基本調査によると、県内の非正規労働者の割合は44.5%（全国平均38.2%）と全国でもっとも高い状況にあり、35歳未満の若年者は50.4%と2人に1人が非正規雇用労働者という状況です。また、医療福祉、工業等の一部業種においては人材不足が深刻化しており、人材確保・定着のため雇用管理改善推進が求められています。

沖縄県と沖縄労働局の主催による要請式では、経済団体・業界団体へ向けて浦崎唯昭副知事により人材不足分野における雇用管理改善及び非正規雇用労働者の正社員転換等についての積極的な推進についての理解と参加団体・事業主への働きかけが要請されました。

浦崎副知事は、「働き甲斐のある魅力的な職場環境づくりによって労働者が能力を十分に発揮できれば、企業の経営基盤を安定させ、ひいては沖縄県全体の発展にもつながる」とし、各団体における環境改善に対する期待を示しました。

要請先団体を代表し、一般社団法人沖縄県経営者協会の安里昌利会長は「県内企業における人材不足や雇用のミスマッチにおける退職は深刻であり、時間外労働抑制や休暇制度の充実、柔軟かつ多様な働き方の実現に向けての取り組みが必要。県、企業、自治体、各団体が連携して沖縄の将来を担う若者や女性が安心して働ける環境づくりを推進していければ」と話し、県、要請先団体双方が雇用環境における認識を共有しました。



障害者の雇用促進に関する要請

平成27年9月3日(木) 沖縄産業支援センター

平成27年9月3日(木)、那覇市の沖縄産業支援センターにて経済団体に対する障害者雇用の要請が行われました。

9月は障害者雇用支援月間と定められており、期間中の事業のひとつとして、沖縄県・沖縄県教育委員会・沖縄労働局・沖縄県障害者職業センターが連名にて沖縄県経営者協会等の経済団体に対し障害者雇用の促進を要請するものです。

要請団を代表して浦崎唯昭副知事が要請文を読み上げ、障害者雇用促進についての理解と協力を求めました。「障害者が能力と適正に応じた雇用の場に就き、経済社会を構成する一員として職業生活において能力を発揮することは、自立と社会参加のために重要であり、相互に人格と個性を尊重しあう共生社会の実現に向けた社会全体の取り組みが求められている」とし、各団体の積極的な障害者雇用と参加事業主への働きかけを要請しています。

障害を持つ学生を代表して、県立泡

瀬特別支援学校高等部3年生富田麻愛さんも挨拶し、施設設備等の理由で卒業後の進路決定が厳しい状況を報告したうえで、「企業に貢献できる人材となれるよう日々研鑽を積みみたい。企業の皆様も就業体験実習の受け入れ、採用枠拡大を検討してもらいたい」と障害者雇用確保を訴えました。

沖縄県の障害者の雇用状況は年々改善されており、平成26年6月の発表で民間企業における障害者雇用数が3,218人と過去最高を記録。実雇用率も21.5%と6年連続で法定雇用率に達していません。しかしながら、法定雇用率に達していない企業は369社あり、雇用義務のある企業の約44%にのぼるなど、障害者を取り巻く雇用環境は依然として厳しい状況にあります。

要請式では意見交換の場も設けられ、経済団体を中心に、障害者雇用とそれに関する取り組みについて話し合いました。



沖縄県ほか各要請者団体の求めに対し、(一社)沖縄県経営者協会安里昌利会長は、障害者の新規雇用の機会を広げていく意志を表明。双方がそれぞれの立場から忌憚なき意見を交換しました。



沖縄県障害者職業センター 川村裕樹 所長



学生代表として、要請を述べる 県立泡瀬特別支援学校高等部3年生 富田麻愛さん



沖縄県 浦崎唯昭 副知事



沖縄県教育委員会 諸見里明 教育長



(公社)沖縄県工業連合会 呉屋守章 会長



(一社)沖縄県経営者協会 安里昌利 会長

平成27年度 第22回 沖縄県高等学校ロボット競技大会

平成27年9月11日(金) 沖縄県立美来工科高等学校



【アイデアロボット競技の部】

優勝
美里工業高等学校
[美里工業機械科ブルー]

準優勝
美里工業高等学校
[美里工業機械科レッド]

3位
八重山商工高等学校
[SUNIが〜]

4位
美来工科高等学校
[美来工科III]

アイデア賞
(産業教育振興会長賞)
美来工科高等学校
[美来工科III]

デザイン賞
(工業連合会長賞)
南部工業高等学校
[南号1号]

【ロボット相撲の部(自立型)】

優勝
沖縄工業高等学校
[AEGIS]

準優勝
那覇工業高等学校
[那覇業X]

3位(同率)
美来工科高等学校
[野原号]

3位(同率)
那覇工業高等学校
[二号機]

【ラジコン型】

優勝
那覇工業高等学校
[那覇業Z]

準優勝
那覇工業高等学校
[KNHK]

3位
沖縄工業高等学校
[沖工D]

4位
南部工業高等学校
[おいそぎ]

5位
南部工業高等学校
[目]

【ラジコン型(ベーシック部門)】

優勝
沖縄工業高等学校
[ドンガマ]

準優勝
沖縄工業高等学校
[らっしゅ]

3位
沖縄工業高等学校
[しゃげ]

沖縄県工業教育研究会、沖縄県高等学校文化連盟の主催による第22回 沖縄県高等学校ロボット競技大会が今年も開催され、会場となった沖縄県立美来工科高等学校には県内工業高等学校の生徒たちが集まり、この日のために作り上げた自慢のロボットの機能と操作技術を競い合いました。

技はアイデアロボット競技の部、ロボット相撲競技の部(自立型、ラジコン型のベーシック部門とチャンピオン部門)の2つに大きく分けられており、それぞれ上位のチームが全国大会・九州地区大会へ派遣されることとなっています。

アイデアロボットの部では、大会2連覇中の美里工業高等学校が上位に2チーム入賞、八重山商工が3位に食い込む等、白熱した戦いが見られました。

ロボット相撲では、自立型の乱戦となり、上位入賞校に独占はなく、どの学校が優勝してもおかしくない戦いでした。

ラジコン型は上位を那覇工業高等学校が占め、次いで沖縄工業高等学



アイデアロボット競技の部ではデザイン賞(工業連合会長賞)として、工連の島袋清人副会長より、南部工業高等学校「南号1号」が表彰されました。

校、南部工業高等学校が追い上げる展開となりました。また、ラジコン型(ベーシック部門)では沖縄工業高等学校が安定した強さを見せ、上位独占を果たしています。

競技終了後の表彰式では、その他、特別賞、アイデア賞(沖縄県産業教育振興会会長賞)、デザイン賞(沖縄県工業連合会会長賞)も授与され、出場した生徒たちの日頃の努力が評価されるよい機会となりました。

琉球大学工学部後援会からのお知らせ

平成27年度 工学部後援会総会 開催報告

工学部後援会事務局 浦崎直光・齋藤将人



平成27年8月19日(水) 17時からホテルロイヤルオリオンにて、平成27年度工学部後援会の総会および懇親会が開催されました。総会では、知念克明会長のごあいさつに引き続き、知念会長の議事進行で議案審議に入りました。議事次第に則り、まず、平成26年度事業報告(第1号議案)と決算報告(第2号議案)、および、平成27年度事業計画案(第3号議案)と予算案(第4号議案)について、本年度事務局の齋藤将人准教授が説明しました。第5号議案で平成27年度新役員が承認された後、事務局幹事の浦崎直光教授から新役員の紹介が行われました。結果、第1号議案、第2号議案、第3号議案、第4号議案、第5号議案の全てが承認されました。最後に、有住康則工学部長のあいさつで総会は滞りなく終了しました。会員団体・企業からは79名の参加がありました。

総会の後、17時40分より懇親会(司会:古川副会長)を開催しました。有住工学部長のあいさつ、続いて大城肇 琉球大学学長のあいさつ、そして島袋清人新会長(沖縄県工業連合会副会長)の乾杯で開幕しました。前年度に引き続き、後援会から援助を受けた4名の学生から、研究テーマや学会発表の報告と援助に対する感謝の言葉がありました。続いて、来賓の藤本昌彦様(総務省沖縄総合通信事務所長)、牧野守邦様(沖縄総合事務局経済産業部長)、呉屋守章(沖縄県工業連合会会長)からあいさつを頂きました。最後に平良辰二副会長から工学部後援会の設立から今日までの経緯について述べられた後、今後の発展について大きなビジョンが示されて会を終了しました。懇親会は、役員や会員団体・企業の他、多数の来賓を迎え、総計96名の参加者を得ました。



知念会長の総会開会の挨拶



有住工学部長の挨拶



懇親会歓談の様子



大城学長



島袋新会長



藤本様



牧野様



呉屋様



平良副会長

琉球大学工学部後援会事務局 (電気電子工学科内/担当:浦崎直光・齋藤将人)

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地 TEL:098-895-8710・8698 FAX:098-895-8708



「第10回 若年者ものづくり競技大会」 旋盤職種 準優勝、フライス盤職種 準優勝



平成27年7月25～29日に行われた「第10回 若年者ものづくり競技大会」(以下:競技大会)への取り組みと結果についてご報告します。競技大会は、厚生労働省及び中央職業能力開発協会が主催しており職業能力開発施設、工業高等学校等において、技能を習得中の企業等に就業していない20歳以下の若年者を対象に競技大会を開催しています。

競技は全14種目あり、当校からは、生産技術科2年の金城孝斗選手(旋盤職種)、伊佐真之裕選手(フライス盤職種)、住居環境科2年の玉城雄登選手、比嘉勇志選手(ともに建築大工職種)、計4名が出場しました。全国各地から旋盤職種27名参加、フライス盤職種27名、建築大工職種49名の参加があり技能・技術について競い合いました。



競技中の金城選手



競技中の伊佐選手



競技中の玉城選手



競技中の比嘉選手

旋盤職種とフライス盤職種は7月25日～29日に滋賀県立高等技術専門校(米原校舎)で、建築大工職種は7月28日～29日に山形ビッグウィングで実施されました。各選手とも競技会に備えて、指導する先生の下で長期間訓練を重ねてきたこともあり、高い集中力で課題製作に取り組むことができたようです。

結果は、旋盤職種の金城選手と、フライス盤職種の伊佐選手が、みごと準優勝を果たしました。

一昨年の敢闘賞、昨年のW準優勝に続き、今年も素晴らしい結果を残してくれました。

好成績を継続することは難しいですが、当校では、これからも学生の技能・技術向上のため競技大会、技能検定等に取り組んでいきます。

生産技術科の2人は、当校の応用課程(生産機械システム技術科)へ進学し、住居環境科の2人は就職活動に取り組んでいます。彼らが、今回の経験を踏まえて、日本のものづくりを担う人材に育てられることを期待しています。



左:伊佐真之裕、中央:宮城校長 右:金城孝斗

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 沖繩職業能力開発大学校 (総務課まで)

〒904-2141 沖繩県沖繩市池原2994-2 TEL. 098-934-6282 FAX. 098-934-6287

●メルマガ会員募集中 <http://www.jeed.or.jp/merumaga/index.html> ●URL <http://www3.jeed.or.jp/okinawa/college/>

沖縄高専だより Okinawa National College of Technology



「やんばるの産業まつり」と 「沖縄の産業まつり」に出展します

沖縄高専では、10月10日(土)、11日(日)に名護市民会館にて開催される「第31回やんばるの産業まつり」と、10月23日(金)～25日(日)に奥武山運動公園・沖縄県立武道館にて開催される「第39回沖縄の産業まつり」に出展します。

当日は、本校の保有技術や研究成果等、並びに企業等との共同研究、技術移転の成果を展示し、新しい知の現場や産業の芽を紹介する予定です。

また、「沖縄の産業まつり」では、小中学生及び親子を対象に科学技術の面白さ楽しさを伝えるため、こども科学教室を開催します。詳細につきましては、下記までお問い合わせ下さい。

第11回沖縄高専フォーラム・情報交換会・技術相談会を 11月に開催します

沖縄高専では、沖縄工業高等専門学校産学連携協力会の平成27年度実施事業の一環として「第11回沖縄高専フォーラム・情報交換会・技術相談会」を下記のとおり開催いたしますので、多くの方々の参加をお待ちしております。

なお、沖縄高専産学連携協力会の会員の方々には、改めてご案内する予定です。

●**テーマ**／「**沖縄高専 ～産学連携の取り組み～**」

●**日時**／平成27年11月2日(月)

沖縄高専フォーラム…………… 15:00 開始予定

情報交換会・技術相談会… 17:20 開始予定

●**場所**／**ロワジールホテル那覇**

沖縄高専フォーラム……………新館3階・ていだの間

情報交換会・技術相談会…本館1階・ファンテジー



※「第11回沖縄高専フォーラム・情報交換会・技術相談会」のお問い合わせは、沖縄高専総務課研究連携推進室までお願いします。

沖縄工業高等専門学校総務課研究連携推進室(担当:伊波・佐加伊・守田)

〒905-2192 名護市字辺野古905番地 TEL:0980-55-4070(直通)・FAX:0980-55-4012

E-mail:skrenkei@okinawa-ct.ac.jp ホームページ: <http://www.okinawa-ct.ac.jp/>





工業技術センターだより Okinawa industrial technology center



—技術支援事例の紹介—

泡盛用ハイボールテイスト割材の開発

沖縄の銘酒泡盛は、ストレートやロック、水割と飲み方も様々ですが、(株)泡ボールビバレッジより、新ジャンル、NEWテイストな新しい飲み方を提供する為の泡盛に特化した専用割材開発の相談がありました。

そこで、同社より技術研修生を受け入れ、沖縄の南国果汁を楽しみながら、耐ハイやハイボールのようなテイストで飲んでいただけるような泡盛専用割材(炭酸飲料、商品名:泡ボール)の技術開発を支援しました。

内容

泡盛専用割材の開発にあたり、重要なポイントは、泡盛自体の風味を残しつつ、香りや酸味、甘さをどのようにしていくかということでした。そこで、以下の3点について開発を進めました。

①「香料の決定」

数社の香料製品を用いて官能評価で比較

②「果汁と香料の添加量の検討」

泡盛を混ぜた条件で香料と果汁の配合量を検討

③「甘味料の添加」

グラニュー糖を用いて、スッキリ感のあるほどよい甘さとなる配合量を検討



アセロラ味 シークワーサー味

成果

①～③の検討結果を元に原料を調合し、専用割材を試作したところ、香り、酸味、甘さのバランスがとれた希望どおりの割材ができました。泡ボールは沖縄本島内の居酒屋等で飲むことが可能です。

工業技術センターは、県内製造業への技術的支援を通して産業の活性化に貢献することを使命として事業に取り組んでいます。「製品の開発に関して技術的なアドバイスがほしい」、「製品の品質を上げたい」、「研究開発の支援がほしい」などの技術課題解決や新製品・新技術開発の支援が必要な場合にはお気軽にご相談下さい。

沖縄県工業技術センター (技術支援班/企画管理班)

〒904-2234 沖縄県うるま市字州崎12番2 TEL:098-929-0111・FAX:098-929-0115
E-mail:kousi@pref.okinawa.lg.jp (メルマガを始めています。)

●ホームページ: <http://www.pref.okinawa.jp/site/shoko/kogyo/index.html>

OKINAWA INDUSTRIAL FEDERATION NEWS TOPICS

沖工連青年部会 会員募集中!

青年部会は親睦会や勉強会等の活動を通して、工業界の青年層が気軽に情報交換できる会を目指しています。

- 加入資格 / 公益社団法人沖縄県工業連合会会員の役員及び従業員で45歳迄
- 会 費 / 入会金10,000円、年会費20,000円
- 会 員 数 / 22名(2015年7月現在)



お問合せ先:公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 (担当:小浜)

公益社団法人沖縄県工業連合会 会員募集のご案内

公益社団法人沖縄県工業連合会は、昭和28年5月に「沖縄県における工業の育成及び振興を図り、もって県経済の発展に寄与する」ことを目的に創立されました。現在では、製造業を中心に約400社の会員を有し、毎年7月の「県産品奨励月間」や「沖縄の産業まつり」などとおして、県内製造業並びに関連産業の振興発展に寄与するため鋭意努力しております。本会の主旨に賛同していただける方なら規模の大小は問いませんので、ご入会をお待ちしております。お気軽に事務局までお問合せください。

会員への主なサービスならびに特典

- 機関誌「工連ニュース」や電子メール等による各種情報サービスの提供
- 経営者や従業員を対象とした講習会、技術・経営セミナーなどの案内
- 公設試験研究機関との連携による技術力向上に関する事業などへの参加
- 県産品奨励月間事業(7月)における国・県・市町村、食品・建材大口需要者などに対する要請活動への参加
- 「県産品マーク」の取得
- 本会のインターネットホームページによる会員企業の紹介
- 「沖縄の産業まつり」の出展料の優遇
- 従業員表彰制度の活用(優良従業員・創意工夫功労者・優秀技能者)
- (一社)沖縄県発明協会との連携による産業財産権に関する情報提供など



会員の皆様へ「工連ニュース」で自社の商品をアピールしてみませんか?

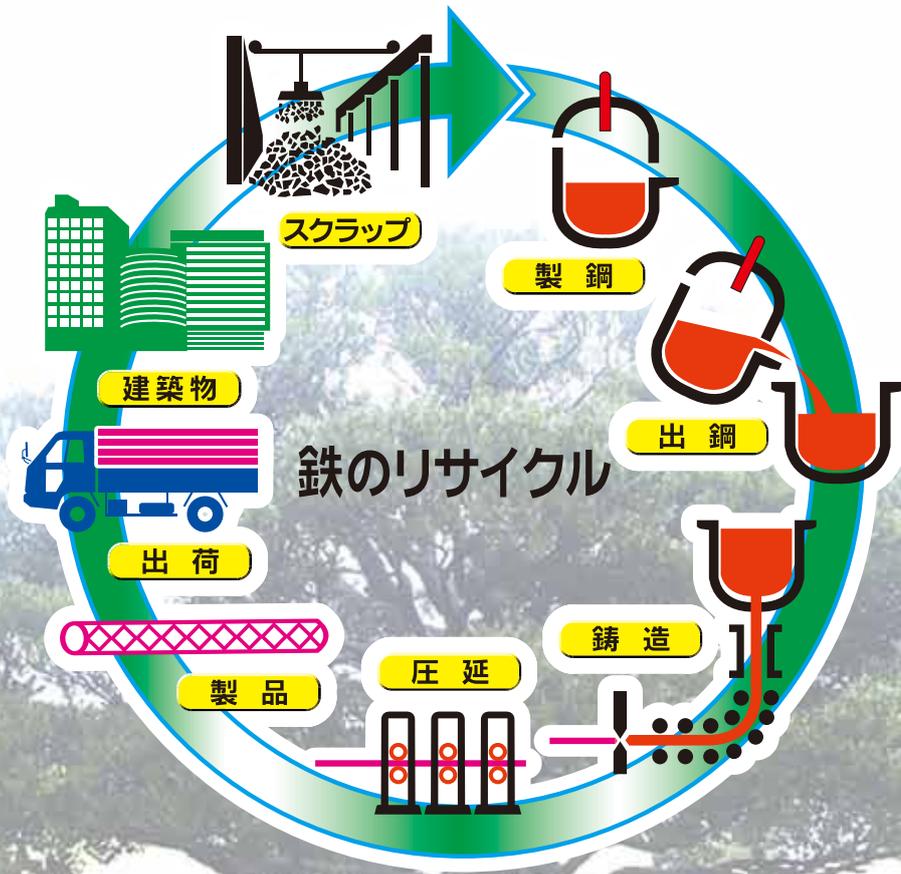
会員の皆様方には平素より本会機関誌「工連ニュース」の事業活動についてご理解・ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

「工連ニュース」では会員サービスの一環として会員の新品などを紹介するコーナーを設けています。事業のPR、新品の紹介などに積極的にご利用下さい。

- お問合せ先
公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 担当:座間味

掲載
無料

つまんちゆのチカラ。



資源には限りがあります。鉄も大事なリサイクル資源です。
鉄のリサイクルを始めて半世紀、これからも
沖縄経済の発展に寄与するとの使命感と、
ゼロエミッション社会の実現のため邁進してまいります。



拓南製鐵株式会社
<http://www.takunan.co.jp>

本社：沖縄県那覇市壺川3丁目2番地4(拓南ビル3F)
TEL098-832-0588 FAX098-832-0586
新中城工場：沖縄県沖縄市海邦町3番26
TEL098-934-6822 FAX098-934-6833
石灰工場：沖縄県名護市字安和西部間2656-2
TEL0980-53-8018 FAX0980-53-8067

県内唯一!

サッシ形材製造



沖縄の気候風土に合った製品を提供!

サッシ・
雨戸の事なら



金秀アルミに



お・ま・か・せ♪



ホテルオリオンモトブリゾート&スパ

モトブオリオンリゾート&スパ、那覇新都心リュークスタワー、
リーガロイヤルグラン沖縄の施設等で我が社の製品が採用されています!

那覇新都心に完成した地上30階建ての「リュークスタワーマンション」で採用されました主力製品「ハイパーサッシ」は、当社風洞試験において「96m/秒」相当の風圧に耐えられる事が実証されています。

秀 金秀アルミ工業株式会社
<http://kanehide-alumi.com/>

管理本部 098-835-8100
営業本部 098-835-8101・8102
生産本部 098-835-8104・8105